

マーケットの動き（2020年2月24日～2月28日）

為替市場は、米ドルは対円で下落（円高）しました。

新型コロナウイルスの感染拡大による影響が懸念され、日本円は、ユーロや豪ドルなどの主要通貨に対して上昇（円高）しました。

FRB（米連邦準備制度理事会）議長から利下げを示唆する発言があった一方、資源国通貨が対米ドルで下落していることなどから、米国の利下げよりもリスク回避的な動きが際立つ展開となりました。

投資環境見通し（2020年2月）

米ドル、ユーロともに、円に対して短期的に下落圧力が強まるも、その後は上昇へ

米ドル：新型コロナウイルスの感染拡大と世界景気に対する影響を注視しつつ、円に対して短期的には下落圧力が強まる可能性があります、次第に落ち着きを取り戻し上昇に向かうとみています。

ユーロ：米ドルと同様、円に対して短期的に、下落圧力が強まる可能性があります、次第に落ち着きを取り戻し上昇に向かうとみています。

	2月28日	変動幅（円）			
		前週比	1カ月前比	6カ月前比	1年前比
米ドル/円	107.87	▲3.84	▲1.28	1.96	▲3.46
ユーロ/円	118.48	▲2.74	▲1.58	1.19	▲8.28

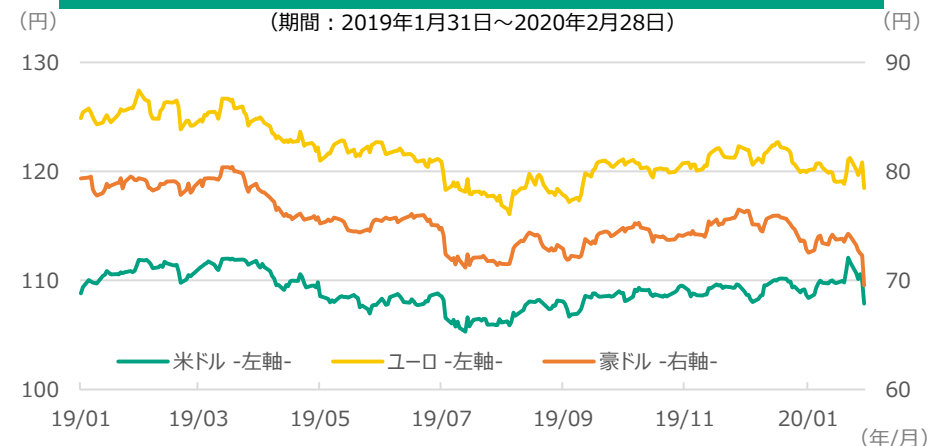
※期間別騰落率の各計算期間は、基準日から過去に遡った期間の応答日（休日の場合は前営業日）までとします。

※最新の「投資環境見通し」もご覧ください。

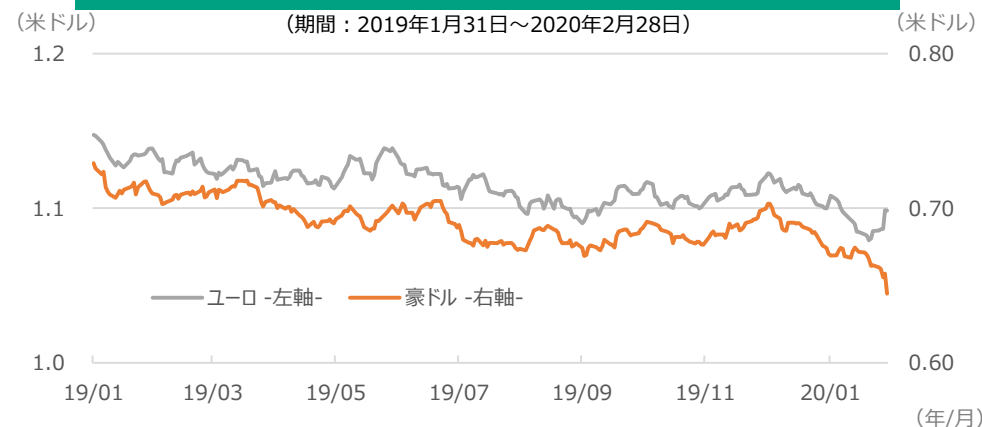
https://www.myam.co.jp/market/outlook/upload_pdf/202002_outlook.pdf

●当資料は、明治安田アセットマネジメント株式会社がお客さまの投資判断の参考となる情報提供を目的として作成したものであり、投資勧誘を目的とするものではありません。また、法令にもとづく開示書類（目論見書等）ではありません。当資料は当社の個々のファンドの運用に影響を与えるものではありません。●当資料は、信頼できると判断した情報等にもとづき作成していますが、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。●当資料の内容は作成日における当社の見解に基づいており、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また予告なしに変更することもあります。●投資に関する最終的な決定は、お客さま自身の判断でなさるようお願いいたします。●当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらに関する著作権等の一切の権利は、それらを作成・公表している各主体に帰属します。●使用インデックスについては、マーケット見通し（総合）の最終ページをご確認ください。<https://www.myam.co.jp/market/report>

為替レートの推移（対日本円）



為替レートの推移（対米ドル）



※出所：FactSetのデータを基に明治安田アセットマネジメント作成